

春

動物病院が1年のなかで一番活気づく季節になりました。新人スタッフが入って初々しくリフレッシュの職場になっているところもあると思います。今回は福島より第一三共製薬の伊藤隆先生からのお便りと、内科アカデミーに参加できなかった先生方のために山口潤先生が寄稿して下さいました。山口先生の新コーナーは連載となりますので、どうぞご期待ください。新たに「物々交換・無償 or 有償提供コーナー」を設けましたので、ご活用ください。中山正成先生が書かれた「ellman NEWS」。紙面の関係上、同封とさせていただきますが、とても楽しいお話です。ぜひ一読ください。最後に、5月15日に開催されます「動物医療発明研究会・総会への出欠ハガキ」も同封してありますので早めのご返送をお願いします。一人でも多くの皆さまのご参加をお待ち申し上げます。 SAMI 事務局



動物病院プロジェクト

『次世代の獣医さんと共に学びたいこと』 小林 英司先生



3月21日、発明研究会会員の遠藤薫先生のお誘いで「次世代の獣医さんと共に学びたいこと」というセミナーに参加しました。

講師は、自治大学を卒業されて地域に貢献後、外科マイクロサージェリーで生体肝移植や腎移植を得意とされる小林英司先生。今は慶応義塾大学医学部の特任教授で、獣医大学でも教鞭をとっていらっしゃいます。

小林先生の若い頃、地方での医師時代は周囲に病院がなかったため、内科も外科も眼科までも相談されることが多かったのだそうです。「ホームドクターの獣医さんも同じかも知れませんが患者さんのニーズが自分を鍛えてくれたように思います。また、地域医療で様々なチャンスを頂いた気がしています。」と仰っていました。

☆セミナーで心の中に残ったこと☆

1／これからの時代は“学学連携”：医学と獣医学が共に連携していく必要がある。

2／さらに“産学連携” 産業と学業が連携して共に技術を伸ばしていくことが大切。

3／教育は、科学なくしては独りよがりになるので、絶えずトレーニングを積み、自分が学ぶ目的を明確にしておく。

4／非臨床と臨床を一体型のシステムにしてコラボすることで、医学も獣医学もさらに発展させ、よりよい方向に持っていくと共に、経営が継続していくことが重要。

これらの話を、フランケンウイニーやギリシャ神話に触れながら情熱的に話してくれました。動物の命は平等でないことや一殺多生の論理なども興味深かったです。

獣医大の学生さんも多数参加していて、みんな一生懸命で

「将来の道しるべになった人もいるのでは？」と思うと同時に、頼もしく感じました。二時間の講義の後は、企業の方が尿道や血管縫合のデモンストレーションができるサンプルを提供してくださるという実習付きでした。

臨床現場にいと、つい日々の仕事に追われ、10年20年後の業界のことまで視野が及びません。でも、せっかくのライセンス、いろいろな分野の方とコラボして、枠を超えて世の中の役に立つ獣医療にしていかなければ、と思いました。

帰り際、メディカルイラストレーターと言って、医療専門のイラストを描く獣医さんとお友だちになりました。また、隣に座っていた4年生の女子学生さんが研究室の肩書きがついたカラフルな名刺を差し出してきて、社会人になる前から自己アピールができることに感心しました。

遠藤先生は、学生だけでなく、開業獣医師向けにもマイクロサージェリーの実習、研鑽を呼びかけていきたいそうです。マイクロサージェリーの技術を磨きたい先生は遠藤薫先生 (Tel:0287-36-5680) までお問い合わせください。

春のスタートに、とてもふさわしいセミナーに心まで暖かくなりました。(清水 宏子)

*プロフィール

小林 英司 M.D., Ph.D.

特任教授 慶応大学医学部 臓器再生医学寄附講座

小林英司研究室 /

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35 慶応義塾大学医学部

総合医科学研究棟7S4

TEL:03-5315-4090 FAX:03-5315-4089



総合医科学研究棟
(通称リサーチパーク)

客員教授 / 自治医科大学 先端医療技術開発センター
〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-1

福島県の近況について

“がんばっぺ いわき”

獣医師 伊藤 隆先生



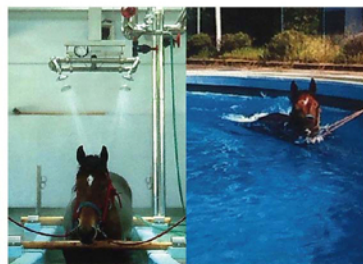
清水宏子先生ご訪問

今日は、皆さんに私の勤務先であります福島県いわき市についてご紹介いたします。まず1番目は、2011年震災後からのペット事情について説明させていただきます。

2011年3月11日に発生した東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により、10万人にもおよぶ住民が被災し避難を余儀なくされました。このため、家族の一員であるペット達も同様に災害の影響を受けることになりました。被災した犬・猫を救うため、福島県、(公社)福島県獣医師会、郡山市、いわき市及び福島県動物愛護ボランティア会が構成員となって「福島県動物救護本部」を立ちあげるとともに収容施設(シェルター)を設置し、被災した飼い主さんに代わってペットの飼育管理が始められました。

シェルターの運営開始から4年8か月経過し、シェルターで管理していた1008頭の被災ペットの全てが飼い主さんの元に帰ったり、新たな飼い主さんの下で生活を始めるなど、シェルターを巣立って行くことになりました。このようにシェルターの役目が終了したため、福島県動物救護本部三春シェルターは2015年12月に閉鎖となりました。

また、「LYSTA」という一般ボランティアの団体で犬猫里親お見合いの会を定期的(毎月第2日曜日)に実施しております。詳しくは、ホームページ <http://ameblo.jp/lystoanimals/> をご参照下さい。



2番目は、いわき市の名所案内です。いわき市の湯本温泉には映画「フラガール」で有名になりましたスパリゾートハワイアン(旧:常磐ハワイアンセンター)がありますが、何と人間の温泉だけでなく『馬の温泉』があります。正式には、「JRA競走馬総合研究所常磐支所」といいます。開設は昭和38年5月です。

治療の目的は主に、腱・靱帯炎55%、骨折27%、関節炎6%、筋炎5%の治療で温浴場や温水プールなどでリハビリを行っています。

「馬の温泉」で過去治療を受けた競走馬としては「グリーングラス」「オグリキャップ」「ミホノブルボン」「トウカイテイオー」がいます。

2011年の震災の時も『馬の温泉』も例外なく被災し、建物には、大きな損傷はなかったものの水道管が破裂し温泉が利用できなくなりました。そのため、震災後は、入厩馬の多くは、茨城県的美浦トレーニングセンターに避難しました。

もうひとつの名所は、「アクアマリンふくしま」です。この水族館は環境型水族館です。2000年にオープンいたしました。品種も全部で約760種類あります。この水族館の特徴は、2つあります。ひとつは、潮目という「親潮」「黒潮」の潮流が福島県沖で合流することになった場合を表現した3角形の大ガラス展示が有名です。

もうひとつ、何と水族館にお寿司屋さんがあります。この館長さんは、葛西臨海水族館や上野動物園の園長を経験された安部義孝さんです。単に魚の展示という固定観念にとらわれず、寿司を通じて魚文化のありかたについてメッセージを伝えたいという発想から寿司処「潮目の海」を出店しているという大変ユニークな館長さんです。私もこの水族館が気に入っているため年間パスポートを購入いたしました。



最後に私が勤務しております第一三共株式会社の小名浜工場について少し紹介しておきます。この工場は1987年に設立しました。ここでの主な製品は、メパロチンという日本オリジナルの高脂血症の治療薬(コレステロールを下げるお薬)です。この製品は、日本だけでなく欧米を含めた海外にも販売されており、2003年の医薬品世界ランキングで6位になりました。当時の年間売上高が47億ドル、日本円で約5,700億円(1ドル:120円で換算)になった製品を現在も製造しています。その他に高血圧を下げるお薬や抗血栓薬なども製造しております。

震災から今年の3月11日で早くも5年を迎えました。

今回、福島県の状況についてペットを中心にご紹介させていただきましたが、まだまだ復興には時間がかかると思います。皆様、機会がございましたら是非、福島をご訪問ください。

(関連リンク)

・馬の温泉 <http://www.equinst.go.jp/JP/onsen/onsen-kengaku.html>
・アクアマリンふくしま <http://www.marine.fks.ed.jp/index.htm>



中山先生の ellman NEWS

幼少期から「とにかく生き物が好き」という中山正成先生の「マイナーだった動物病院」を開業される時の苦労話。「夫婦喧嘩は犬も食う」という異論?また「人を作る人を作る」という75人のお弟子さんの素晴らしいお話。最後に「日本はまだ遅れている」と辛口のコメント。同封いたしましたのでぜひともご一読ください!

誠心誠医・創医工夫 ①



ハリネズミの 診察グッズ

希望の丘どうぶつ病院 山口 潤先生

第12回 日本獣医内科学アカデミー学術大会 (JCVIM2016) での講演、「新規開業をアイデアで乗り切る」の内容の一部を抜粋しています。今回はエキゾチックアニマルの診察について特に、診察に手こずることの多い、ハリネズミの診察グッズについてまとめてみました。

ハリネズミの診察の際には丸まって針を逆立ててしまうことが多く、持つことや、視診すらままならないことがあります。ハリネズミのハンドリングには革製の手袋を使われることが多く、当院でも革製の手袋(図1)を使っていたのですが、洗濯や消毒がしにくいので、シリコン製の耐熱手袋(図2)やシリコン製のトンガ(図3)などを使用するようになってきています。

診察の際には、ボウルや洗面器に入れてあげると、丸くなるポーズをやめてくれる個体もいます。また透明な洗面器(図1・4)であれば、そのまま、腹側の視診を行うこともでき、スムーズに診察を行うことができます。

爪切りには、金網を使われることが多く、当院でも使っていましたが、ハリネズミが金網から出てしまうことがあるため、現在はワイヤーバスケット(図5)を使用しています。また爪切りには、アングルニッパー(図1)を使用しています。

いずれの場合においても、1本の指に体重がかかってしまうことは避けるように注意が必要です。



図1



図2



図3



図4



図5

物々交換・無償or有償提供コーナー

『新しい器具・機械を購入するので、まだまだ使用できるので、どなたか利用されないだろうか?』『当院では、こんなものが欲しいのだけれど…』

このような声があるのでは?と、三郷の佐藤先生からのご提案です。とても良いアイデアだと思いますので、新コーナーを設けさせていただきます。医療器具・機械以外のものも、ぜひご提供ください。

*基本的には各病院から無償提供とさせていただきますが 交渉は直接、病院同士でお願いします。

★差し上げます(送料のみご負担ください)

BMYC-001



『3眼KYOWA顕微鏡』

型番: UNLUX-11

(オーバーホール済み)

提 供: 佐藤犬猫病院

お問合せ: 048-955-5576

*下のランプを取り替えば
検使用などに
まだまだ使えます。

★お譲りします(価格は電話でご相談を)

BMYC-002



凍結手術は
全身麻酔なしで
短時間で
終わります。
処置後、
痛みません。
コツも
お伝えします。

凍結手術器『クリヨペン』*旧型ですがまだまだ使えます
(カートリッジ17本付き)

提 供: 清水動物病院

お問合せ: 045-583-3738

★この新『提供コーナー』を皆さんで大いにご活用ください!

ニャンコのつぶやき

ネコジャラシ
ネズミのおもちやが一番好き
ジャンプジャンプで
ストレス発散明日の朝まで
目が覚めず
二十一歳のトラバアチャン
近づいただけでビャービャーといじめてなんかいないんだ
ただ一緒に遊んでほしいだけ
うっとおしいのかな...



ゴースト

ワンコのつぶやき

ギョギョッ!
僕の目魚の目だって
前から痛かったんだ
早くから痛かったんだ
良く見えなかったからね
痒い。痒い。痒い。痒い。
痒いよ。
この三月はいつものな
でも、お薬もらって
元気だよ。



佐藤犬猫病院 三郷市 佐藤 剛作

動物医療発明研究会『公開セミナー』開催!

今年も『SAMI 総会 & 無料セミナー』を開催いたします。2016年5月15日(日)、昨年と同じく渋谷の「インターズー会議室」です。

お返事は出欠に関わらず、同封のハガキにて4月30日(土)までに事務局までお知らせください。

*会費節約のため往復ハガキのご案内はとりやめ、このニュースレター紙上のご案内とさせていただきます。どうぞ悪しからずご了承ください。

年会費: ¥4,000(2016年4月~2017年3月分)

同封の振込用紙にて4月30日(土)までに、お願いいたします。



「動物医療発明研究会」 総会 & 無料セミナーのご案内

皆さま、いかがお過ごしでいらっしゃいますか。

お役立ちセミナーと総会を開催いたします。

ぜひご参加いただけたらと思います。

お手数ですが、出欠についてのご連絡を同封のハガキにて4月30日までにお願い申し上げます。

日時: 平成28年 **5月15日(日)** 13:00~16:00

場所: (株)インターズー 担当: 清水 070-5557-2526

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-3-9 東海堂渋谷ビル7F

総会内容

27年度 事業報告 決算報告

28年度 事業計画案 予算案

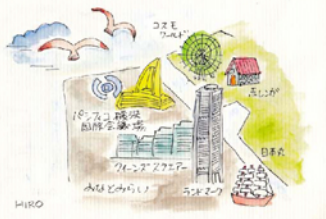
お役立ちセミナー(無料)

- 中山 正成先生(奈良・中山獣医科病院)
『少しの工夫で臨床力アップ』
- 山口 潤先生(石川・希望の丘動物病院)
『新規開業からベテランの先生まで
使えるアイデアやグッズ』



来年『内科学アカデミー』での講演者募集

2017年2月17~19日の間、パシフィコ横浜にて開催される『第13回 日本獣医内科学アカデミー学術大会』(JCVIM2017)で『教育講演』をなさりたい先生がいらっしゃいましたら「講演テーマ」と「ご希望の日と時間帯」を事務局へお知らせください。



▲ 今日から役立つアイデアや若い先生にもたまる情報満載でお届けします。
皆さまと楽しく過ごせたらとても嬉しいです。

小さな
約束でも
積み重ねたら
大きなゴールに
つながる



清水宏子の五行歌

動物医療発明研究会のホームページ。会員病院の登録もできます。
hp.ispecial.co.jp



会員の病院・施設名、郵便番号住所、TEL&FAXとホームページアドレスを掲載します。ご希望の場合は、「SAMI-HP掲載希望」と明記して、データをメールにて、上記アドレスまでお送りください。

(運営受託: 株式会社アイ・スペシャル)



動物医療発明研究会事務局ではお役立ちのアイデアやエピソードを随時募集しています。メール、FAX、郵便でも受け付けていますのでお気軽にお寄せください。

SAMI NEWS 43号 発行日: 2016年4月5日

発行所: 動物医療発明研究会事務局

発行人: 会長 清水 邦一 / 編集人 野間 忠博

事務局: 230-0061 横浜市鶴見区佃野町3-3 清水動物病院内

メール: sah@vet.ne.jp

FAX: 045-583-3594 (電話: 045-83-3738)